

事務事業名		社会体育学校開放事業			会計	一般会計					
課等名		生涯学習・スポーツ課	係等名	スポーツ施設係	事業種別	経常	開始	S51	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり								
	施策	26	スポーツの振興								
目的	対象(誰・何を)	学校開放体育施設				対象指標	指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	利用者が安全で良好な環境で利用できるよう維持管理する。					学校開放施設(体育館・校庭・武道場)数		55		
	向上させたい上位施策の成果指標	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:(%)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	不具合発生件数:(件)			85	85	80	70			
	定性目標										
	事業概要										
<p>一般市民に学校開放をするための経費。 モップリース代、電気代、消耗品など開放するためにコストがかかる。 人口規模の大きい地区においては、学校開放運営委員会を組織して、定期的な会議を開催して、利用調整と施設の適正管理を図る。</p>											
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 学校開放施設の維持管理(小中学校体育館、グラウンド、武道場)電気料、モップリース、消耗品、原材料ほか				1 開放施設数			1 55施設			
	2 学校開放運営委員会の開催				2 対象施設数 開催回数			2 4施設 8回			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		10,455	10,399	10,313	10,265	(そ)社会体育学校開放施設使用料					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		261	550	155	317						
一般財源		10,194	9,849	10,158	9,948						
人件費計(千円)②		1,359		1,359							
正規職員所要時間		380		380							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		11,814	10,399	11,672	10,265						
事業内容・目標達成状況の振り返り	使用料収入が減少しているが、利用者数の減少と、減免手続が利用者に浸透して対象となる事例が増えている状況がある。										
改革改善の考え方	①問題点	利用者数と使用料収入の伸び悩みから維持管理に要する経費の一般財源への依存度が増している。									
	②改革提案	使用料と減免規定の見直し検討を行い、受益者に一定の負担を求めていくのと同時に施設の良好な維持管理に努める。									